



■秋季オープンキャンパス日程
令和8年（2026年）開催
【来場型】
※10月5日（月）17時より参加登録・来場予約開始予定
○10月24日（土）午後のみ
・模擬講義・学科見学
・教職員・在学生個別相談
・キャンパスツアー など
○10月25日（日）
・学生企画
・在学生個別相談
・キャンパスツアー など
【オンライン】
○10月5日（月）～11月6日（金）
・入試対策講座
・キャンパス紹介
・学科の学び紹介 など
※詳細は大学HPをご確認ください。

PICK UP 学習院大学の教育システムを支える学びの環境



緑豊かな都心のキャンパスで 専門性と学際性を備えた 〈T型人才〉を育成



SUMMARY

1847年、京都御所日ノ御門前に開講された公家の教育機関「学習院」を源流とする学習院大学。人文・社会・自然科学の学部群を擁する緑豊かな「学びの杜」は、学生と教員が自由闊達に議論を交わし、ともに知的探究を深める校風を受け継いでいます。2026年4月には新たに「国際文化交流学部」が加わり、学びの幅がさらに広がりました。

高い研究力に支えられた専門性と分野を超える学際性を養い、新たな価値を創造する「T型人才」を育成。また、就職支援にも定評があり、先輩・後輩の絆を生かした「キャリアフェスティバル（キャリアフェス）」をはじめ、多彩なプログラムで学生一人ひとりの進路実現を支えます。

01 分野や学年を超えた交流 第一線で活躍する教授陣

心にあいながら緑豊かで広大なキャンパスを擁する学習院大学。由緒ある建造物や史跡が最先端の研究棟や教室棟と美しく調和しています。

教壇に立つのは、それぞれの分野で高い評価を受け、著名な研究成果や受賞歴を誇る教授陣。少人数教育を基盤に、教員と学生が近い距離で最先端の知に触れながら学びを深めることができます。

高度な専門性と豊かな経験を備えた教員によるきめ細かな指導に加え、学部や学年を超えた多様な仲間との交流が、分析力・思考力・表現力、そして主体的な行動力を育みます。アットホームな校風の中で、挑戦を重ねながら生涯の友人や恩師と出会えることも、学習院大学の大きな魅力です。

02 2023年に竣工した 東1号館

1号館（＝右下写真）は学び人の視野を広げる「学びのハブ」。アクティブラーニングスペースを備えた大学図書館やラーニング・サポートセンターなど、オープンな空間にコミュニケーション・学習支援機能を盛り込み、学習環境の更なる進化を実現しています。

03 人文、社会、自然科学を 網羅した充実の「学び」

を超えて求められる「人間力」の育成を重視する学習院大学では、授業の約70%が30名以下という少人数教育のもと、手厚く質の高い教育を展開しています。

04 日本を学ぶ、世界を知る、 英語で伝える「国際文化交流学部」

0206年4月、学習院大学は旧・学習院女子大学国際文化交流学部を6番目の学部として統合・共学化しました。国内外の文化・社会を学ぶと同時に英語力を高める、ユニークな取り組みが特徴の学部です。日本文化を学び、世界の多様な文化や国際社会を理解し、対話のための英語力を重点的に伸ばす専門科目と、政治経済・メディア・環境など幅広い課題を探索する学部共通科目を用意。人間と文化への深い洞察力を備え、文化交流と相互理解を通じて国際社会に貢献する人材を育成します。また、言語習得だけではなく、体験を通じて現地ならではの多様な学びを実現する海外研修プログラムや、海外協定校とリアルタイムでコミュニケーションが取れる同時授業などを実施しています。

05 全学共通科目や副専攻制度で 分野を横断して学ぶ

生の多様な興味に対応するため、学習院大学では他学部・他学科の分野も学習できる「基礎教養科目」群を開設しています。

所属学部・学科にかかわらず、自由な選択で他分野の最新の知見に触れられるほか、「キャリア・デザインⅢ」「海外フィールド研修

06 究極の就職支援プログラム 「キャリアフェス」

「法学部」では法学科と政治学科の多彩な科目を相互に広く履修することができます。法学科では国家公務員総合職試験や法科大学院進学を念頭に置いた演習科目などを開講。また、最短5年で司法試験を受験し、合格を目指す「法曹コース」も設置しています。一方、政治学科では、大学院との連携で、学部入学から5年間で修士号を取得できる「特別選抜コース（T course）」を設置しています。

「経済学部」では、現代社会において解決を迫られているさまざまな問題に対して経済学・経営学の立場から多面的にアプローチ。専門分野に特化した独自の英語教育や、簿記検定の合格を目標とした資格系の科目など、実社会で役立つ講義も豊富です。

第一線で活躍する研究者であり、教育者でもある教員が揃う「文学部」では、豊かな教養と知性を磨くことを目的に、8つの学科を設置。基礎から先端領域まで体系的に学べるカリキュラムが組みられ、演習を通して深い考察力とプレゼンテーション能力を身につけます。

「理学部」は学生数に対する教員の数が極めて多いのが特徴です。物理、化学、生命科学科では豊富な実験による実践重視の教育を通して、数学科では1年次からのセミナーを通して、柔軟な思考力と問題を秩序立てて解決する能力を育めます。

「国際社会科学部」では国際的なビジネスと「Ⅲ」など自分と世界のかかわり方を考える科目も。さらに「生命社会学」「宇宙利用論」「文化財と化学」といった、学習院ならではの文理融合科目で、イノベーションのまなざしを育てます。また、修了認定が発行される「副専攻制度」ではデータサイエンス、日本語教師養成、ジェンダー・スタディーズの現代に不可欠の3プログラムで、学部の専門に加えて、自身の興味に応じた強みを伸ばせます。

さらに、近隣4大学（学習院・早稲田・立教・日本女子）連携による単位互換制度「f-Campus」も展開。大学の枠を超えて学ぶことができます。

就職に強い大学としても定評があり、内定率は98・6%（2026年3月時点）。そこには、「キャリアアセンター」が一人ひとりの学生と向き合い独自に展開する、きめ細かいサポート体制があります。新入生を対象としたキャリアアップセミナーに始まり、就職セミナーではワークショップを重視した議論型の講座を多く実施。「自ら考える力」「伝える力」「聴く力」を養います。就職支援プログラムは年間を通して100以上にのびます。

特筆すべきは、「キャリアフェス」こと「キャリアアフェスティバル」。35年の歴史を持つ伝統の「面接対策セミナー（フューチャー）」をリニューアルし、「業界別OB・OGとの対話ブース」「キャリアアセンター職員に相談できるブース」「OB・OGによるトークセッション」など多彩なコンテンツを設け、就職活動を支援。先輩から後輩へ、脈々と受け継がれてきた取り組みが、質の高い就職実績に結実しています。

